

平成 25 年度 全国学力・学習状況調査結果

小学校6年生と中学校3年生を対象に本年4月に行われた、平成25年度の全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。教科に関する調査では、国語、算数・数学が行われ、幕別町では、小学校段階での習得に課題が残るものの、中学校での確実な定着を伺うことができ、また質問紙調査では、朝食や睡眠、家庭学習などにおいて、全道や全国の平均と比較し、基本的な生活の習慣化が図られている傾向にあることが見える結果となりました。

■問い合わせ先 教育委員会学校教育係 (TEL【幕】54-2006)

◆教科ごとの結果 (主なもの)

【理解している・身につけている内容】

教科	小6	中3
国語	・スピーチの表現を工夫すること ・推薦文を読み、推薦理由を捉えること	・漢字を正しく読むこと ・敬語を適切に使うこと
算数 数学	・同分母の分数の加法計算 ・情報を整理し当てはまるものを選ぶこと	・「三角形の合同条件」の理解 ・表の情報を活用して解くこと

【課題のある内容】

教科	小6	中3
国語	・相手の立場を感じ取って聞くこと ・話し手の意図を捉えること	・漢字を正しく書くこと ・新聞記事の特徴を捉えること
算数 数学	・単位量当たりの大きさを求めること ・数量関係の求め方	・平均値の意味の理解 ・事象と式の関係性を捉えること

◆過去の調査結果との比較 【H22当時 (小6) ⇒H25現在 (中3)】

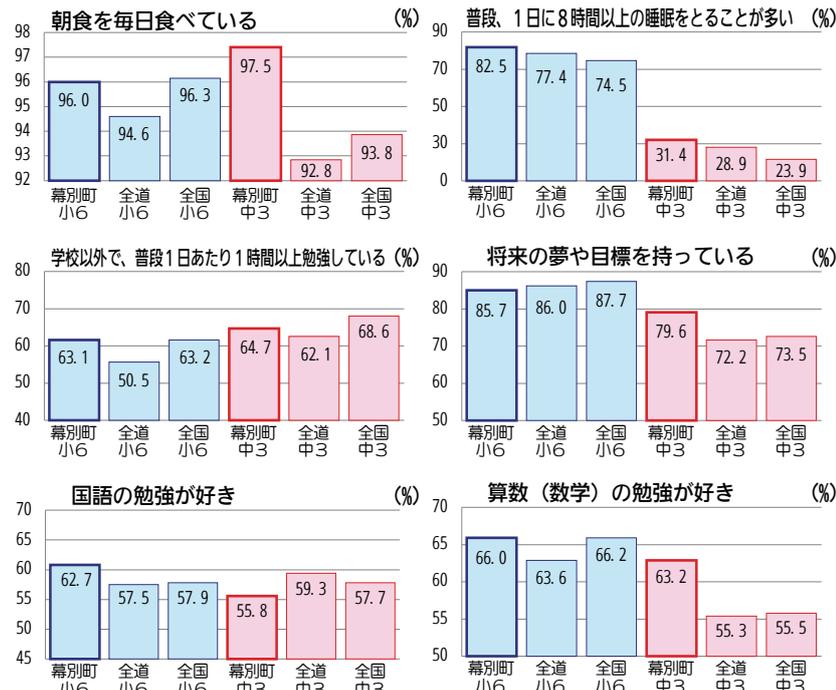
	全道との比較		全国との比較	
	H22(小6)	H25(中3)	H22(小6)	H25(中3)
国語 (知識)	→	↗	↘	↗
国語 (活用)	→	↗	↘	→
算数/数学 (知識)	→	↗	↘	↗
算数/数学 (活用)	↗	↗	↘	↗

※平均正答率について、幕別町と全道と全国を比較したものです。

↘ 下回っている → 概ね同様 ↗ 上回っている

教科に関する調査結果

教科に関する調査は、主に知識に関する内容、応用力や活用能力を問う構成になっています。小学校6年生では、国語(活用)を除き、全道平均を下回り、全国平均との差も広がっています。一方、中学校3年生は、全教科で全道平均以上で、国語(活用)を除いては、全国平均をも上回る結果となりました。また、3年前の調査結果と比較しますと、当時、小学校6年生のときに全道平均とほぼ同様であった国語(知識)や算数(知識)が、中学校3年生では全国平均を超えているなど、着実な学力の定着を伺うことができます。



※質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合を示したものです。

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果

幕別町の児童生徒で『朝食を毎日食べている』と答えた割合は9割を超え、また、『普段、1日に8時間以上睡眠をとることが多い』と答えた児童は8割以上でした。さらに、『学校以外で、普段1日あたり1時間以上勉強している』と答える児童生徒も6割を超えており、全道や全国の平均と比較しても、基本的な生活習慣を身につけている傾向が伺えます。国語、算数・数学に関する学習意欲については、中学校3年生の国語を除き、全道や全国の平均をほぼ上回る割合となっています。